

1, 調査報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3471700280
法人名	特定非営利活動法人 介護福祉サービスゆうゆう
事業所名	グループホームゆうゆう永井
所在地	広島県府中市府中町171-6 (電話) 0847-43-3300
評価機関名	特定非営利活動法人 あしすと
所在地	福山市三吉町南一丁目11-31-201
訪問調査日	平成 20 年 5 月 23 日

【情報提供票より】(20 年 5 月 3 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15 年 10 月 1 日
ユニット数	1 ユニット 9 人
職員数	8 人 常勤 7 人 非常勤 2 人 常勤換算 7.2 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋造り
	4 階建ての 3 階 ~ 4 階部分

家賃(平均月額)	50000 円	その他の経費(月額)	12500 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (八百円以上)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1200 円		

(4) 利用者の概要(5 月 3 日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名		
要介護3	2 名	要介護4	2 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 84 歳	最低	78 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	瀬尾医院 和泉医院
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】 訪問日 平成20年 5月23日

街の中心に存在する4階建てのモダンなビルで、玄関には色とりどりのプランタンの鉢植えの花が植えてあり、目立つ場所に、その日のケアの目標が掲げてあり、訪問し易い雰囲気がある。商店街の地域を活かした交流をされている。職員全員で接遇に力をいれているホームであり、月2回のミーティングでは、毎回リーダー中心に、節度を持って業務にあたり、行動も伴う様、常に意識を高めあっている。尚、アセスメントを大切に個別のケアが行われている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善課題である、運営推進会議を活かした取り組みや市町村との連携は、徹底して取り組まれ、改善されていた。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	個々に担当者を決めて、月2回ケアミーティングを行い、全員で取り組み、実践につなげている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	ホームの概要説明、近況報告の後、多数の参加者から、貴重な意見が交わされていた。消防署からは、近隣の応援体制を求められている。災害対策として、具体的に、ホームの中で日頃から、最悪を想定して、いつでも誘導できる様、自助努力してほしいという意見が出た。それに対して努力されつつある。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	面会時、月1回の家族会後等、個々に情報収集して、ケアプランや運営にも反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会の行事、及び、溝掃除等地域活動に参加し、「ホーム便り」も月1回町内に配布している。外出時には公園のゴミ拾い、空き缶拾いに、利用者が自発的に参加し、近所の方からは喜ばれている。ボランティアの受け入れ体制もできている。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者一人ひとりが穏やかに、一瞬一瞬輝けるよう支援し、共に喜び尊厳を重視した理念を作り、地域の方々と交流を通して、認知症ケアのあり方を知ってもらい、共に歩んで行くこと目指している。		
		理念の共有と日々の取り組み			
2	2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、スタッフ全員で毎朝朝礼で、唱和している。内容が理解され、全員に浸透された支援がされている。		
2. 地域との支えあい					
		地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の祭りへの参加、町内会の溝掃除、公園の空き缶ひろい、ゴミひろいを積極的に行っている。ボランティアの受入れで、介護教室等の勉強会を計画している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員は外部評価が参考になり、具体的にこれを活かして改善に取り組んでいる。自己評価、外部評価の項目が大変支援の参考になる。		
		運営推進会議を活かした取り組み			
5	8	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	19年の7月より3ヶ月に1回行われている。施設長、管理者、入居者、家族、地域の代表者、包括の職員、消防署の職員、派出所からの参加もあり、活発な意見交換がなされている。消防署からの具体的なアドバイスも受け、そこでの意見を活かして努力されつつある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政の設定で、毎月1回地域ケア会議と居宅ケア会議に参加し、市町村との連携は取れている。又、4事業所が参加するので、交流が出来、ケアの悩み、アドバイスもし合って、サービスの質の向上に役立っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回の「ホームだより」や家族会を通して、個々に合わせた暮らしぶりや、健康状態が報告されている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会の時、一人ひとりケアプランを家族に確認してもらっている。又、家族会で出た要望や意見はミーティングやケアカンファレンス時に話し合って、運営に反映させている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者一人ひとりが穏やかに、一瞬一瞬輝けるよう支援し、共に喜び尊厳を重視した理念を大切に、利用者にはダメージを与えない様個々に応じた対応が出来ている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な外部の研修やゆうゆう独自の研修会には、なるべく多く参加し、報告はミーティングで行い、皆で共有出来ている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は月1回関係事業者との勉強会に参加し、積極的にサービスの向上に取り組んでいる。職員も6ヶ月に1回の研修会に参加して、他事業者の意見を取り入れている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族と良く話し合い、馴染みの物を持参され、家族に協力してもらい、連携を保っている。泊まりの体験をしてもらい、利用者通しが雰囲気に徐々に慣れてもらっている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>スタッフは、生活を利用者と共に過ごすことで、お互いに支えあう重要性を理解して、業務にあっており、優しく家庭的にふるまっている。利用者の方から、昔の知恵を大いに貰って支えあう関係を築いている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の関わりの中で声掛けをし、把握に努めている。言葉やその日の表情で、本位を察し確認している。家族での暮らしぶりも参考にしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日頃から、本人と家族に個々に話を良く聞き、ホーム独自のアセスメント表に情報収集をし、計画作成担当者と介護スタッフ全員で、意見やアイデアを反映した介護計画に取り組んでいる。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の状況を見極めながら、3ヶ月に1回見直しを行っている。状況が変化した場合は、期間前でも融通性を持たせた見直しを行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の好みに合わせて、フラワーアレンジメントの教室に参加したり、カラオケボックス、外食、音楽療法等柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望する主治医の受診が得られている。近所の和泉医院のドクターがコミュニケーションを取りに、毎日訪問されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化に伴う意見確認書を作成し、事業所が対応出来る最大のケアについての説明を行っている。家族と相談しながら、意思確認も出来ており、全員で方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者の方の誇りやプライバシーを損なわないよう、職員が一丸になって取り組んでいる。家族には、同意書を貰い個人情報保護法を理解し、秘密保持の徹底が図られている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの体調に配慮しながら、本人の希望に沿った支援がされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者が全員女性であるので、全員で、調理、盛り付け、配膳、片付けを得意な分野でなされていた。屋上の家庭菜園で作った季節の野菜が盛り付けてあり、食事職員と一緒に、会話も進み楽しい食事の雰囲気である。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望やタイミングに沿った入浴を実施している。入浴拒否の方もいるが、入居者同士誘ってもらったりして、楽しんで入浴されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	裁縫、フラワーアレンジメント、買い物の支援、料理の手伝い、菜園の水遣り等得意な分野で役割を頼み、感謝の言葉を伝えるようにしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	気分転換も配慮し、散歩、買い物で常に外出を取り入れた支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけないで、自由に入出入りできる。夜間のみ防犯と安全を守るために施錠を行っている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に1回訓練を実施している。町内会にも協力を得ているので、2回にする心づもりである。		運営推進会議で消防署より、要望が出されている事と重なるが、街の中の建物でもあり、最悪を想定して、日頃からいつでも誘導出来るよう、ミニ災害訓練を身につくまで実施される事が望ましい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	調理師資格を持った職員が栄養面の管理をし、毎日の食事の摂取量、水分等を介護日誌に記録し全員の把握ができています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用する浴室、トイレも清潔にされており、居間も季節感のある装飾があり、屋上からの眺めもよく、家庭的な居心地よく過ごせる工夫がみられる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は使い慣れた馴染みの物品が持ち込まれており、壁には自分、の作品が掲示され、安心して過ごせる工夫がしてある。		

介護サービス自己評価基準

認知症対応型共同生活介護

事業所名 グループホーム ゆづゆ泳井

評価年月日 2008年 5月 23日

記入年月日 2008年 5月 3日

記入者 介護支援専門員 氏名 新岡 亜紀子

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↓ 取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・ 昨年の4月にゆうゆう永井独自の運営理念を作成。家庭的な環境の下、家族や利用者、地域の方々との交流を通してグループホームのあり方や役割を知って頂き、地域と共に歩んで行くことを目指している。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・ 事業所全体の経営理念とゆうゆう永井の運営理念は、毎朝の朝礼時に唱和してから業務に取り組んでいる。また、業務(ケア)に迷った場合は理念を思い出して日々、振り返りをしている。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にされた理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	・ 事業所全体の経営理念・運営理念を玄関・リビングに掲示し、ご家族へは、家族会の際に説明・理解を行っている。	
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・ 日常的に散歩や買い物などに出かけ、近隣の人達と挨拶を交わしたり、話をしたりしている。また、回覧板を回すなど、近所の方との関係を大切にしている。	
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・ 地域のお祭りへの参加・ボランティアの受け入れなど行っている。また、町内の溝掃除や防災訓練にもご利用者と一緒に参加している。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる		○	介護相談・介護教室など、地域住民を対象にした勉強会など計画を行っている段階。早期に実現に移していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・自己評価・サービス評価の意義や目的を全員に伝え、前向きに取り組んでいくように心掛けている。外部評価での結果は、ミーティングなどの機会に報告し、改善に向けての具体案の検討や実践につなげるための努力を行っている。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・前回の外部評価での、改善点にもあり、昨年の7月から現在にかけて、3回にわたり開催している。ご家族やご利用者、地域住民代表(かかりつけ医師・消防署・派出所等)の方々に参加を求め、当グループホームを知って頂き、また今後は外部評価についての結果を踏まえ、現在取り組んでいる内容(接遇・認知症ケアについて)も報告し、意見をまらうようにしている		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・毎月1回、地域包括支援センター主催の地域密着型会議(グループホーム会議)があり、地域包括支援センターの職員や同市内の他グループホーム事業所とも情報交換を行い、交流を図りながらケアの質の向上に努めている。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・成年後見人制度が必要なケースは管理者が1人で対応しており、他の職員は理解していない。その為、必要ときに支援できる体制が万全であるとは言えない。	○	・勉強会などを開き、職員の理解を深めていかないといけない。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・勉強会などを行い、高齢者虐待防止法に関する理解浸透や遵守に向けた取り組みを行っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4 . 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5 . 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・事業所外で開催される研修にはなるべく多くの職員が受講できるようにしている。また、それらの研修報告をケアミーティング時に行い報告会を兼ねた勉強会にしている。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・関連事業所などと勉強会や研修で交流を持つことにより、サービスの向上を目指している。また、同市内に連絡会（地域ケア会議）があり、そこでの情報交換も行っている。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・日常の業務や面談時に職員のストレスや悩みを把握するよう努めている。勤務中にも気分転換できる休憩室を確保したり、職員同士の人間関係を把握したりするよう努めている。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・職員が向上心を持って働けるよう人事評価制度を導入している。また、職員の資格取得に向けた支援を行い、資格取得後は、本人の意向を重要視しながら職場内で活かせる労働環境作りに努めている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1 . 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・入居の希望があった際には、必ずご本人にお会いして、心身状況やご本人の思いに向き合い、職員がご本人に受け入れられるような関係作りに努めている。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・ご家族が困っていること、不安に感じていることなどを聞き、事前に話し合いをしている。ご本人のことはもちろん、ご家族も悩みなども聞きようになっている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・相談時、ご本人やご家族の思い、状況などを聞き、改善に向けた支援の提案、複数の選択肢を提示し共に検討し、支援を行っている。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・本人様や家族様に何度か見学に来て頂いたり、お試しでお泊りを体験する等、慣れていただいた上で入居の運びをとっている。やむを得ず、すぐに入居になった場合は、家族様やそれまで関わった関係者の方に面会に来てもらい、安心感を持ってもらうようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・支援する側・支援される側という意識を持たず、お互いが協働しながら和やかな生活が出来るように場面作りや声かけをしている。スタッフは、生活を入居者の方と行い、お互いに支えあうことの重要性を理解し、業務にあたっている。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・日々の状況をこまめに家族様に伝えることによって、本人様の情報の共有を行っている。家族様と職員が、本人様の情報を共有することによって、本人様を支えていくための協力関係が築けていると思われる。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・本人様の日ごとの状態をこまめに家族会カードやゆうゆう新聞にて報告すると共に、家族会への参加を呼びかけ、面会に来ていただくなど、関係が途切れないように留意している。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・在宅にいたときに利用していた美容院など入所後も継続利用が行えるように支援している。家族様より、面会の制限がない方については、なじみの知人・友人との面会などが出来るように支援している。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・毎日のおやつ・食事時には職員も一緒に多くの会話を持つようになり、役割活動を通して入居者同士の関係が円滑に行えるような働きかけをしている。仲の良い入居者同士は、一緒に入浴したり、一緒に居室で過ごせるよう支援している。またご本人やご家族の意向も合わせて数カ月おきに自宅へ外泊し、気分転換を兼ねてより良		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・特記事項なし		
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1．一人ひとりの把握			
33 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・日々の関わりの中で声をかけ、把握に努めている。言葉や表情などからその真意を推し量ったり、確認するようにしている。意思疎通困難な方には、家族様より情報を得るようにしている。また、本人様にとって、どこで、どのように生活することが最良なのかを家族様と適宜、相談している。		
34 これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・本人様・家族様に、どのような生活を行ってきたかを聞いている。ケアプラン作成時にはアセスメント表を用いて情報把握に努めている。		
35 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・生活・心理面の視点や、出来ないことより、出来ることに注目し、その方と全体の把握に努めている。職員は、入居者の方の生活のリズムを把握しており、個別の対応に心掛けている。		
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・当グループホームオリジナルのアセスメント表を基本に情報収集をしている。またご本人やご家族には日頃の関わり合いの中で思いや意見を聞き、それを反映させるようにしている。計画作成作成担当者と介護スタッフが一緒になって、本人の意向を取り入れつつケアプランの作成に取り組んでいる。		
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・3ヶ月ごとの見直しを行っている。状態が変化した場合（介護度の変化や身体・精神状態の変化に伴う）は、期間前でも検討・見直しを行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・入居者の方の状態・状況は、個々の介護日誌に記載し、職員間の情報共有を徹底している。日々の暮らしの様子や本人の言葉、エピソードなどを記録するよう努めている。また日々のケアプラン実施表に対する評価やコメントも記録して次のカンファレンスにて実施表を基に見直しをしている。		
3．多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・入居者の方への柔軟な支援はもとより、近隣の高齢者が状況に応じてお泊りデイサービスなどを利用できるシステムを作り、適宜、対応している。		
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・施設の新聞にて、地域の方々にボランティアへの協力を呼びかけている。また運営推進会議を通して、利用者が安心して地域での暮らしを続けられるように派出所や消防署や町内役員と意見交換する機会を設けている。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている		○	現在のところ行っていないが、必要に応じて、その都度検討対応を行っていきたいと考えている。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・困難事例について、地域包括支援センターへ相談に行き、助言を頂きながら連携し、改善につながった。その後、運営推進会議の開催や地域密着型会議の参加をきっかけに関係が強化された。周辺情報や支援に関する情報交換・協力関係を築いている。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・本人様や家族様が希望する医院・病院を主治医として対応行っている。必要に応じて、適宜、主治医と連絡を取り、受診対応を行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・連携医療機関の医師が認知症の方の医療に熱心で、ご本人やご家族、職員の話をよく聴いてくださる。日常のご利用者の姿を通して全ての関係者と一緒に助言や指示を頂いている。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・非常勤ではあるが、看護師が週に1度出勤し、入居者の方の健康チェックを行っている。また、特変・異常時には、24時間、その看護師に相談できる体制をとっている。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・入院によるダメージを極力防ぐために早期に医師と話をする機会をもち、事業所内での対応可能な段階でなるべく早く退院できるよう、アプローチしている。また、家族様とも情報交換しながら、早期の退院支援に結び付けている。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・重度化に伴う意思確認書を作成し、事業所が対応しうる最大のケアについての説明を行っている。		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・毎月の家族会の際に、家族様の意向などの聞き取り、ターミナル期に向けての話し合いを行っている。当施設で出来ること・出来ないことについても、説明を行った上で、ターミナル期に備え、準備を行っている。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	・他の事業所に移られた場合、ケアプランや支援状況を手渡すと共に、情報交換を行うなど、住み替えによるダメージを最小限に食い止めるよう努めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1．その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・ケアミーティングの際に、職員の意識向上を図るよう努めている。また、入居者の方の誇りや、プライバシーを損なわない対応に職員一丸となって取り組んでいる。	
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・複数の選択肢を提案して、一人ひとりの入居者が自分で決める場面をつくっている。	
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・基本的な1日の流れは決まっているが、時間を区切った過ごし方はせず、入居者の方の状況に合わせて生活を行っている。外出・散歩など、一人ひとりの状態や思いに配慮しながら柔軟に対応を行っている。	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・本人のなじみの美容院で希望に合わせたカットや毛染めを行えるように支援している。朝の着替えは、本人の意向で決めており、職員は支援が必要なときに手伝うようにしている。自己決定が困難な方に対しては、職員と一緒に選んで、本人の気持ちに沿った支援を心がけている。	
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・調理・盛り付け・配膳・片付けなど入居者の方と全て行っている。また、職員と入居者の方が同じテーブルを囲んで楽しく食事が出来るよう雰囲気作りも大切にしている。屋上の家庭菜園で作った野菜と一緒に調理し、共に食事をするのも利用者の楽しみの一つである。	
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・職員は一人ひとりの嗜好物を理解しており、本人の様子やを見ながらそれらを楽しめるように支援している。現在、喫煙・飲酒を望まれる方はいないが、今後、適宜、要望に応えていきたいと思う。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>・一人ひとりの排泄パターンを理解し、適宜、トイレでの排泄を行えるように支援している。オムツ外しにも取り組んでいる。リハビリパンツや尿とりパッドもその方の状態に応じて利用している。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>・毎日の入浴を行っており、現在は、入居者の方の希望により、夕食後の夜間浴を実施している。仲の良い方は、一緒になどの配慮も行っている。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>・日中の活動やレクリエーションへの参加を促し、生活リズムを整えるよう努めている。出来るだけ眠剤を服用しなくても生活できるよう、一人ひとりの睡眠パターンを知り、対応を行うようにしている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>・得意分野で一人ひとりの力を発揮してもらえよう、お願いできそうな仕事を頼み、感謝の言葉を伝えるようにしている。また、外出先や食事内容など、入居者の方と相談しながら決定・実行をしている。</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>・家族の方への説明と協力により、小額のお金を持っている人もいる。家族様より、お金を預かり、施設内で管理している方も、外出時には、自分でお金を払っていただけのようにお金を渡すなどの工夫をしている。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>・天気・本人の気分や希望に応じて、季節を肌で感じてもらい、心身の活性につながるよう、日常的に散歩、買い物など行っている・歩行困難な方も車椅子など使用し、外出の機会を予め行事予定に組み込み、日常的に支援している。</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>・現在のところ、そういった要望や声は上がっていないが、必要に応じて、適宜、検討・支援につなげていきたいと思っている。</p>	○	左同

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・手紙・葉書などだすための支援を行い、入居者の方の希望に応じて日常的に電話や手紙を出せるよう支援している。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・面会時間は決めていなく、家族様の都合のいい時間帯にいつでも訪ねてきていただけるような配慮をしている。また、本人様との食事や家族様の宿泊についても、相談に応じる体制を作っている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体拘束に関する勉強会を適宜行い、職員の共通認識を図っている。日々の申し送りの中で、日常のケアを振り返り、自覚しない身体拘束が行われていないかなどをチェックしている。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・夜間のみ職員が手薄くなるため、防犯上と安全を守るために施錠を行っているが日中は鍵を掛けずに自由な暮らしを支援している。夜間の施錠については、入居者様、家族様にもその旨説明行い、同意を得ている。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・職員は入居者の方と同じ空間で記録など行いながら、さりげなく全員の状況を把握するように努めている。夜間は、2時間おきに入居者の方の状況を確認すると共に、起きられたときにすぐに対応できるよう工夫している。		・建物の構造上、夜間のみ4階は廊下に設置してあるモニターにて安全の管理を行っている。夜間の巡視は、2時間おきに、職員が自分の目で確認している。あくまでも、夜間の安全対策のみに使用を行っている。プライバシーには十分な配慮を行っている。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・入居者の方の状況に合わせながら、厳重に保管すべきもの、保管管理が必要なもの、入居者の方が使うときに注意が必要なものに分けて管理している。基本的には、包丁・はさみなど、どの入居者の方もすぐに使用できるように心掛けている。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・ヒヤリハットの活用を行い、事故の再発防止に力を入れている。万が一、事故が起きた場合には、速やかに事故報告書を作成 今後の対応策の検討と、家族への連絡を行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・定期的に施設内研修を行っている。また、夜間の緊急対応・緊急時の対応マニュアルの作成を行い全フロアの見やすい場所に掲示している。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・年に2回、入居者の方、スタッフ共に避難訓練を行っている。また、日常的に、入居者の方に、火災時の行動についてなど話している。		・今後、地域の協力体制などの確保・確立を行っていないといけない。運営推進会議などと平行しながら、地域の方の理解・協力をお願いしていく。
72	リスク対応に関する家族等への話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	・毎月の家族会の際に、家族の方に説明を行っている。様々な活動によるリスクを説明し、本人様にとって抑圧感のない暮らしの必要性もあわせて説明を行い、家族様と施設サイドでの具体的な話し合いが行われている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・一人ひとりの既往歴・注意すべき留意点など職員は把握しており、少しでも食欲や様子などの変化が見られたときにはその旨、記録に残し、状況に応じて早期の病院受診を行っている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・介護日誌の中に処方箋を添付しておき、職員が随時、内服内容を把握できるようにしている。服薬管理方法も定期的に見直しを行い、随時、改善策を検討・実行している。服薬チェックとして、介護日誌に印を押し、配薬ミスを防いでいる。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・繊維質の多い食材や乳製品を取り入れた食事作り・おやつ作りを行っている。毎朝、食前には乳製品(ホットミルク・ココア等)を飲用して頂くことも習慣になっている。また、散歩・家事活動など身体を動かす機会を適度に設けて、自然排便が出来るよう取り組んでいる。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・毎食後の歯磨きの声掛けを行い、一人ひとりの力に応じて職員が見守ったり、介助を行っている。就寝前は義歯の洗浄を行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・調理師資格を持った職員が栄養・カロリー計算を行い、献立を立てている。また、食事量の記入などを介護日誌に毎回行い、職員全員が、入居者の方のおおまかな栄養摂取量を把握できている。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・利用者、スタッフ共にインフルエンザ予防接種を受けている。又、ノロウイルス対策として塩素系のものを使用した掃除を以前から行っている。起こりうる感染症についても、各種マニュアルを作成し、適宜、勉強会を行っている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・まな板・布巾を毎日漂白をし清潔を心がけている。調理器具・食器も定期的に漂白を行い、衛生管理に努めている。また、新鮮で安全な食材を提供するために、買い物はこまめに行き、買いだめをしないようにしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工 土 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・明るい雰囲気のある玄関になるように、花壇を作り、季節感を演出している。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・食事作りの音・ご飯が炊けるにおい・季節に応じた食べ物(おはぎ作り・柏餅・おせち料理など)など、五感や季節を意識的に取り入れる工夫を行っている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づ くり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・廊下やベランダに椅子を置き、一人で過ごしたり、仲の良い方と一緒にくつろげるスペースを作っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・なじみのものがあることで安心感を持って生活が出来ることの説明など行い、在宅で利用していた家具などを、出来るだけ持ってきていただくようお願いをしている。		・家族の方に、使い慣れたもの・なじみのものの搬入の依頼を随時行っているが、なかなか進行していない状況である。今後も継続して行っていきたい。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・空気の入れ替えを2～3時間おきに行っており、トイレは換気扇と消臭剤で悪臭が出ない工夫をしている。又、温度は、温度計と入居者の方の様子を見ながら調整を行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・入居者の方の状態に合わせて、手すりや浴室、トイレなど設計されている。また、段差や、歩行に際して、障壁になっているものがないか、日常的にチェックを行っている。		・生活環境(シンクの高さ・食器の収納高さなど)での改善・改修困難なものもあり、それらについては、スタッフが安全を考慮しながら支援・介助にて対応を行っている状態である。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・個々の状態に応じた環境整備を行うように努めている。状態の変化に合わせて、適宜、ケアミーティングなどを行い、不安を取り除き、安心して生活していただけるよう努めている。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・玄関の花壇・屋上のプランターでの野菜作りなど、入居者の方が日常的に楽しみながら活動できるような環境を作っている。屋上でのおやつなど空間利用も行っている。		・今後、屋上のスペースをいくらか畑にし、現在よりも、入居者の方が土に触れる機会を増やしていきたいと考えている。

.サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の 2/3 くらいの	
		利用者の 1/3 くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の 2/3 くらいと	
		家族の 1/3 くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に つけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の 2/3 くらいが	
		職員の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の 2/3 くらいが	
		家族等の 1/3 くらいが	
		ほとんどできていない	

【時に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)